



【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 6月上中旬 (漬け梅に散布)

○黒星病・すす斑病 : インダーフロアブル/5,000倍/収穫前日/2回/20ml/水100㍓

収 穫

収穫後の取扱いは丁寧におこないましょう。当たり傷はその時は目立たなくとも後日変色し、出荷先や購入者からのクレームの原因となります。

(梅干用) 果実表面の毛じが半分以上脱落し、果面に光沢が出てきた頃になります。

1 樹を1 度に収穫せずに期間を空けて2回以上にわけ、未熟果は出荷をしないようにしましょう。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 6月～8月

○カメムシ発生時 : スタークル顆粒水溶剤/2,000倍/収穫前日/3回/50g/水100㍓

6月中旬

○果実軟腐病 : トップジンM水和剤/1,000倍/収穫前日/5回/50g/水100㍓

○和刈りか : フェニックスフロアブル/4,000倍/収穫7日前/3回/25g/水100㍓

夏 肥 6月上旬

キウイ配合 80kg/10a

初期肥大促進のために重要。着果が多くなる場合は、20～40kg増量します。

摘果 2回以上に分けて摘果しましょう。

・荒摘果 6月上～中旬

奇形・扁平・傷・病害・小玉果を除去。荒摘果はできるだけ早く行くと果実肥大が良好になります。

・仕上げ摘果 6月下～7月上中旬

奇形果・傷果・小玉果から摘果する。1㎡あたり25着果を目標に摘果しましょう。

【かき】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 6月上旬～中旬

○柿ハダカ : フェニックス顆粒水和剤/4,000倍/収穫7日前/2回/25g/水100㍓

○落葉病・うどんこ病 : スコア顆粒水和剤/3,000倍/収穫前日/3回/33g/水100㍓

追 肥 6月中下旬

柿配合 50kg/10a

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

【柑橘】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除

6月中～下旬

○黒点病

シマンダイセン水和剤/600倍/166g/水100ℓ

【温州みかん】収穫30日前/4回【温州ミカンを除く】収穫90日前/4回

○シカバネ

アタックオイル又はハーベストオイル/150倍/666ml/水100ℓ

○シカバネダニ

ハチハチフロアブル(劇)/収穫前日/2回/2,000倍/50ml/水100ℓ

チャノバザミ

又は

コテツフロアブル(劇)/収穫前日/2回/6,000倍/16ml/水100ℓ

(発生園に散布)

○カガラムシ類

トランスフォームフロアブル/収穫前日/3回/2,000倍/50ml/水100ℓ

又は

アプロードエースフロアブル/14日前/2回/1,000倍/100ml/水100ℓ

摘果

(大津・青島)

大津・青島は大玉果になりやすいので、隔年交互結実をさせてなり込ませます。

表年の樹はこの時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。裏年の樹は7月中に全摘果しましょう。

摘果

(不知火・はるみ)

不知火・はるみは樹冠上部に着果させると樹勢の低下につながります。

生理落果が始まったら樹勢強化の為、樹冠上部1/3～1/4は全摘果し樹勢の強化を図りましょう。

【水 稻】

水管理

田植え後、4～5日は水温を保つため深水とします。(掛け流しはしない)

以降は3～5cm前後の深さを保ちましょう。

雑草防除

主な除草体系(例)

通常	一発処理剤(トップガンR1 ^キ 粒剤など)
雑草多発田	一発処理剤+後期剤(クリンチャーバスME液剤 など)
ノビエ多発田	一発処理剤+中・後期剤(ヒエクリーン1 ^キ 粒剤、クリンチャーバスME液剤、 クリンチャーEW など)
コナギ多発田	一発処理剤+後期剤(バサグラン粒剤 など)
クログワイ多発田	クログワイに効果のある一発処理剤(トップガンR1 ^キ 粒剤など)+後期剤 (バサグラン粒剤、クリンチャーバスME液剤など)
藻類多発田	一発処理剤+モゲトン粒剤

* 水稻の一発処理剤(および初期剤)は、移植後日数の早い時期に散布するよう心がけ、散布後7日間は止め水にし、湛水状態を保ちましょう。

* 水稻除草剤の散布時期は薬剤によって異なるので、ラベルをよく確認しましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の収集について

成田営農経済センターにて下記の日程で貝の回収を実施いたします。

スクミリングガイを発見した場合は捕獲をお願い致します。

1. 収集日 令和4年6月6日（月）・13日（月）・20日（月）・27日（月）
7月4日（月）・11日（月）・19日（火）・25日（月）
8月8日（月）・22日（月）
9月5日（月）・12日（月）

2. 収集時間 8時30分～12時

※時間に間に合わない場合は成田営農経済センターにご連絡ください。

3. 収集場所 成田営農経済センター

住所：小田原市成田802-1 TEL：0465-38-0131

【注意事項】

・スクミリングガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるため、捕獲の際はゴム手袋を着用し素手では触らないようにしましょう。

- ・個別回収は行いませんので、収集場所への持込をお願いします。

【お願い】

- ・持込の際は、水分をよく切ってから袋に入れ、袋の口をしっかりと閉じて持ってきて下さい。
- ・発生水田では捕獲と薬剤（スクミノン、スクミンバイト）併用での対策を図って下さい。
- ・畦畔等に生み付けられた卵塊を発見した場合は、潰して下さい。
- ・水田の水口、水尻にネットを取り付け、水田内への侵入や隣接する水田への被害拡大を防いで下さい。
- ・発生水田は冬季に耕うんを必ず行い、土中で越冬している貝を潰して下さい。

防除について

- ・薬剤散布

スクミノン/湛水散布(収穫60日前)/2回/1～4kg/10a

スクミンバイト3/湛水散布(発生時)/2～4kg/10a

- ・捕獲

寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるため、捕獲の際はゴム手袋を着用し素手では触らないようにしましょう。

- ・網の設置

水田の水口、水尻にネットを取り付け、水田内への侵入や隣接する水田への被害拡大を防いで下さい。（目合いは9mm程度）

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）駆除農薬購入助成金のご案内について

当センター管内で発生が多発している「スクミリンゴガイ」について対策として駆除剤購入者に対し助成しますので、ぜひご利用ください。

1. 申請期間：令和4年4月1日（金）～令和5年2月28日（火）まで
2. 購入費用（税抜）の1/2 以内を助成します。

項目	助成内容	助成率
スクミリンゴガイ 駆除剤購入費助成	スクミリンゴガイ駆除 の為の薬剤購入費助成	1/2 以内

【申請方法】

薬剤購入後、以下の書類の提出をよろしくお願いいたします。

- ①地域農業応援プログラム申請書
 - ②申請書宛の領収書の写し
 - ③（補助金等がある場合）本事業と併用する補助金・助成金等の受領書・入金通知書等
- ※申請書はセンターにてお渡しします。